

平成 29 年 3 月 27 日  
常任委員会資料  
教育委員会

# 夏季休業日のあり方 アンケート結果について 【 報 告 】

北九州市教育委員会

平成 29 年 3 月

# 目次

【概要】 夏季休業日のあり方アンケート結果について	1
【保護者：設問3：校種別】 夏季休業日のあり方アンケート結果について	2
【保護者詳細】 夏季休業日のあり方アンケート（設問ごとの回答）	3
【教職員：設問3：校種別】 夏季休業日のあり方アンケート結果について	4
【教職員詳細】 夏季休業日のあり方アンケート（設問ごとの回答）	5

【概要】夏季休業日のあり方アンケート結果について

調査期間：平成 28 年 9 月 15 日（木）～平成 28 年 10 月 5 日（水）

調査対象：抽出校保護者（対象者約 7 千名）、全教職員（対象者約 5 千名）

調査方法：保護者→調査票に記入し学校にて配布・回収、教職員→電子申請システム

【アンケート概要】

①保護者アンケート：（対象者 6,793 人【児童数】、回答者数 3,137 人、回答率 46.2%）

- ・ **設問 3（夏季休業日短縮に関する賛否）について、約 6 割が賛同、約 2 割が賛否なし【どちらでもない】、約 2 割が反対**（賛同①+②は 56.6%、賛否なしは 24.3%、反対④+⑤は 19.1%）
- ・ 賛同する主な理由は「空調設備が整ったのなら、夏季休業日を減らして授業時間に当てて欲しい」、「共働きが増えているので子供達にとっては短縮した方がよい事が多い」などがある。

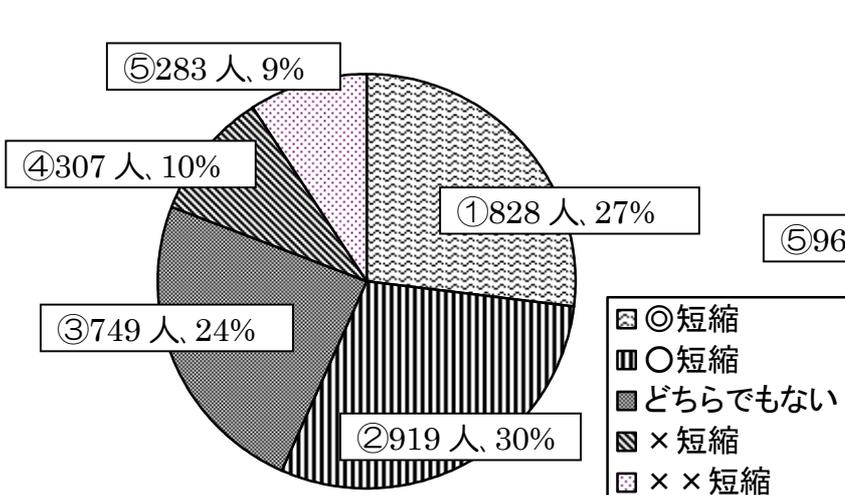
②教職員アンケート（対象者 5,035 人、回答者数 2,054 人、回答率 40.8%）

- ・ **設問 3 について、約 1 割 5 分が賛同、約 1 割 5 分が賛否なし、約 7 割が反対**（賛同①+②は 12.6%、賛否なしは 16%、反対④+⑤は 71.4%）。
  - ・ 自由記述の主な意見として、「空調設備が整った状態であっても、登下校の暑さや校内の暑さを考えると大変」、「研修時間が減るし、休みが取りづらくなる」などがある。
- （参考）福岡市が昨年 7 月に行った保護者向のアンケートでは約 8 割、教職員向のアンケートでは約 3 割が賛同している。

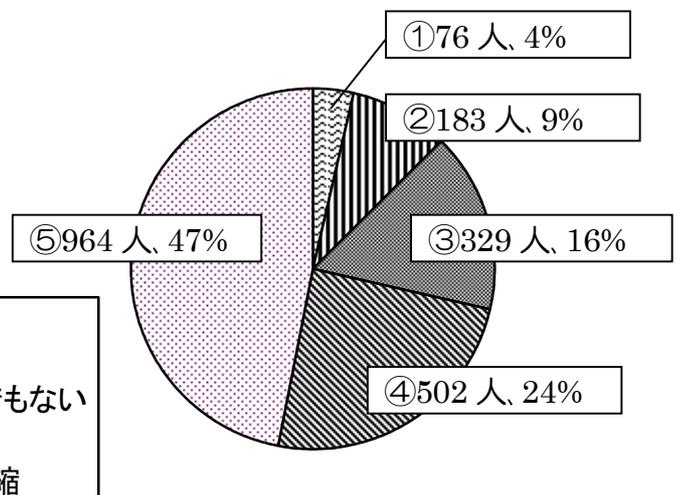
設問 3 夏季休業日のあり方について、あなたの考え方をお選びください。

- ① ◎短縮→短縮した方が良い
- ② ○短縮→どちらかといえば短縮した方が良い
- ③ どちらでもない
- ④ ×短縮→どちらかといえば短縮しないほうが良い
- ⑤ ××短縮→短縮しないほうが良い

保護者アンケート（3,086 名）無回答 51 名



教職員アンケート（2,054 名）



【保護者：設問3：校種別】夏季休業日のあり方アンケート結果について

調査期間：平成28年9月15日（木）～平成28年10月5日（水）

調査対象：抽出校保護者（対象者約7千名）

調査方法：保護者→調査票に記入、学校にて配布・回収

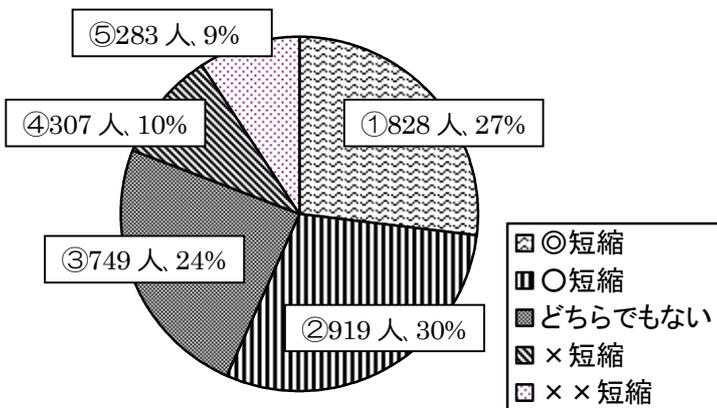
【アンケート概要】（対象者6,793人【児童数】、回答者数3,137人、回答率46.2%）

- アンケート（設問3）について、賛同（①+②）は56.6%、どちらでも良いは24.3%、反対（④+⑤）が19.1%
- 自由記述の主な意見として、「空調設備が整ったのなら、夏季休業日を減らして授業時間に当てて欲しい」、「共働きが増えているので子供達にとっては短縮した方がよい事が多い」などがある。
- 福岡市が昨年7月に行った保護者向けのアンケートでは約8割が賛同している。

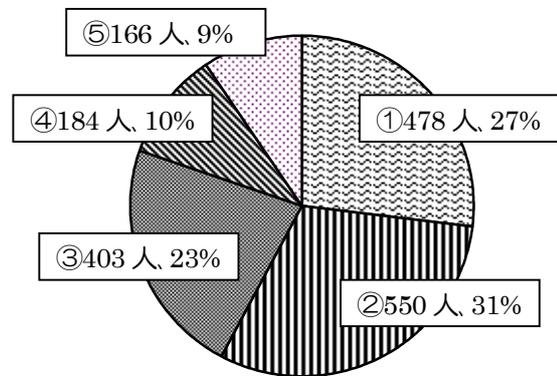
設問3 夏季休業日のあり方について、あなたの考えをお選びください。

- ① ○短縮→短縮した方が良い
- ② ○短縮→どちらかといえば短縮した方が良い
- ③ どちらでもない
- ④ ×短縮→どちらかといえば短縮しないほうが良い
- ⑤ ××短縮→短縮しないほうが良い

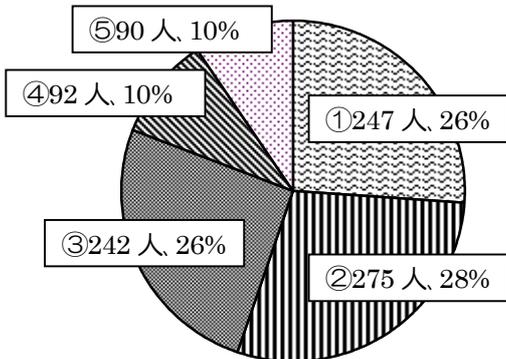
全体（3,086名）無回答51名



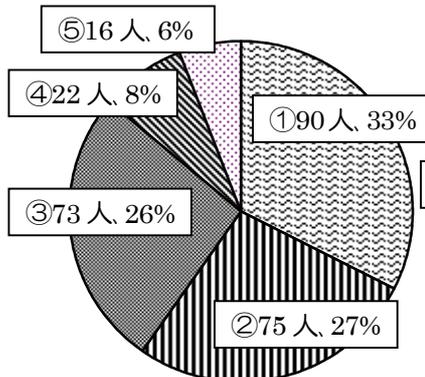
小学校（1,781名）無回答23名



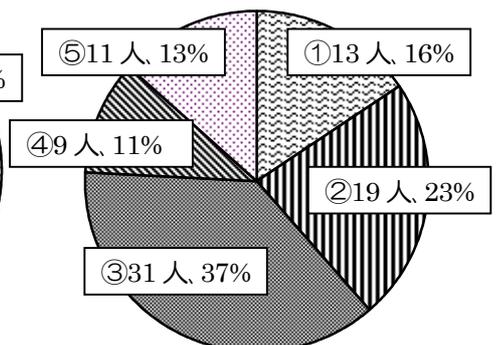
中学校（968名）無回答22名



特支（282名）無回答6名



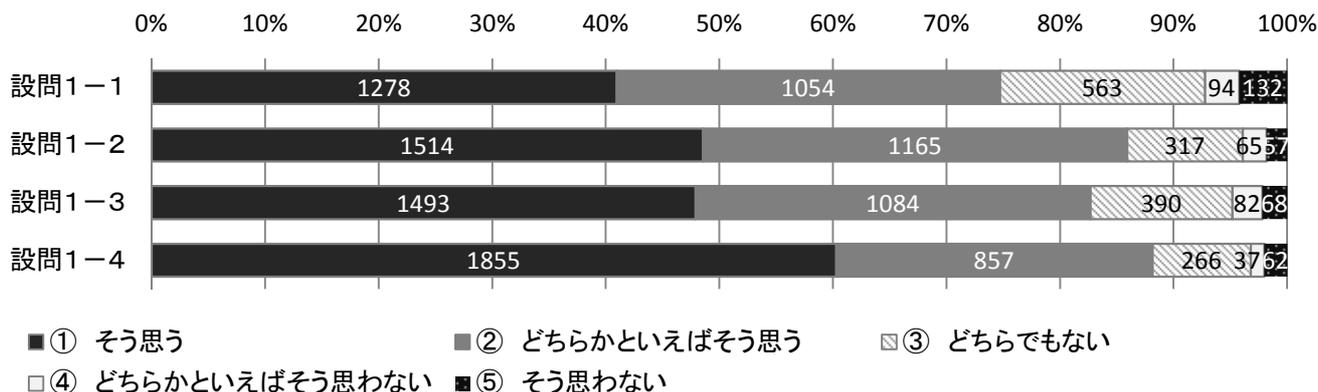
幼稚園（83名）



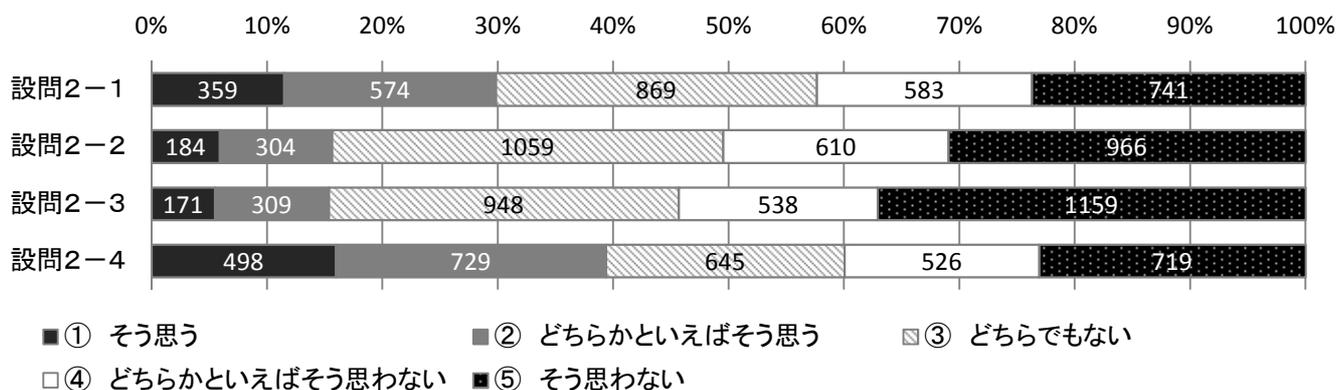
## 【保護者詳細】夏季休業日のあり方アンケート(設問ごとの回答)

- ・メリットについては概ね賛同する意見が多い
- ・デメリットの中では、設問2-2「幼児・児童生徒が地域行事へ参加する機会が減る」設問2-3「幼児・児童生徒の習い事(スポーツや塾等)に影響する」の「そう思わない」の割合が顕著に高い。

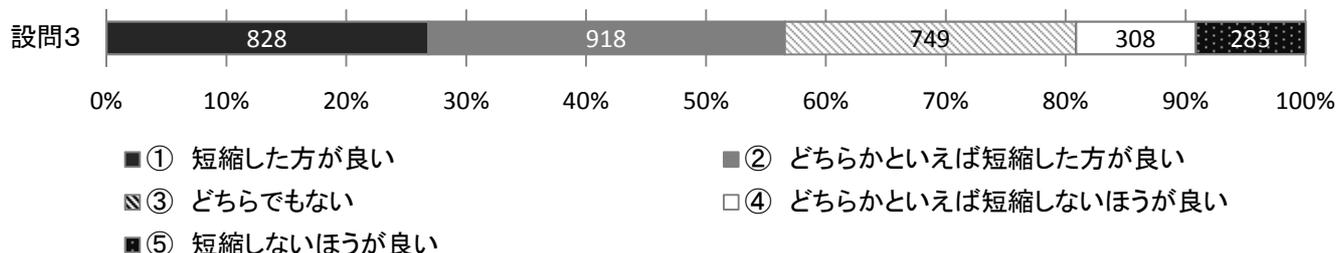
設問1	夏季休業日を短縮した場合、想定されるメリットについて、あなたの考え方をお選びください。
設問1-1	幼児・児童生徒が規則正しい生活を送るようになる
設問1-2	幼児・児童生徒が学校で、先生や友だちと触れ合う時間が増える
設問1-3	幼児・児童生徒が家庭で学習することと比較して、充実した学習が期待できる
設問1-4	幼児・児童生徒に給食が提供されるならば、1日の栄養バランスなど食事面での安心感がある



設問2	夏季休業日を短縮した場合、想定されるデメリットについてあなたの考え方をお選びください。
設問2-1	幼児・児童生徒が家族と過ごす時間が減る
設問2-2	幼児・児童生徒が地域行事へ参加する機会が減る
設問2-3	幼児・児童生徒の習い事(スポーツや塾等)に影響する
設問2-4	幼児・児童生徒を夏の猛暑のなか、登下校させるのは心配だ



設問3	夏季休業日のあり方について、あなたの考え方をお選びください。
-----	--------------------------------



【教職員：設問3：校種別】夏季休業日のあり方アンケート結果について

調査期間：平成28年9月15日（木）～平成28年10月5日（水）

調査対象：全教職員（対象者約5千名）

調査方法：教職員→電子申請システム

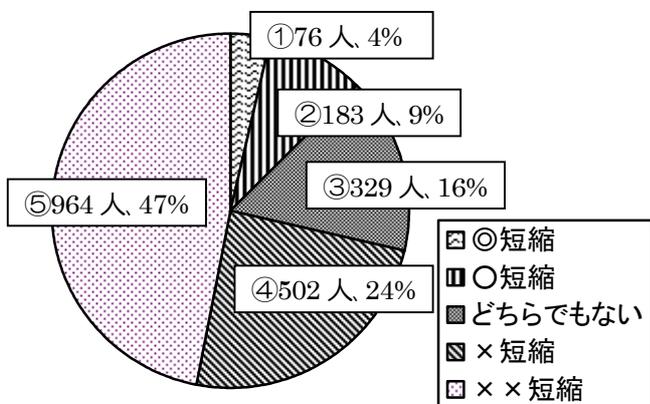
【教職員アンケート概要】（対象者5,035人、回答者数2,054人、回答率40.8%）

- 教職員アンケート（設問3）について、賛同（①+②）は12.6%、どちらでも良いは16%、反対（④+⑤）が71.4%
- 自由記述の主な意見として、「空調設備が整った状態であっても、登下校の暑さや校内の暑さを考えると大変」、「研修時間が減るし、休みが取りづらくなる」などがある。
- 福岡市が昨年7月に行った教職員向のアンケートでは約3割が賛同している。

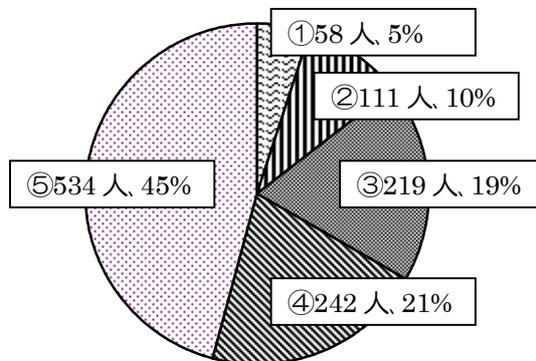
設問3 夏季休業日のあり方について、あなたの考え方をお選びください。

- ① ○短縮→短縮した方が良い    ② ○短縮→どちらかといえば短縮した方が良い  
 ③ どちらでもない                      ④ ×短縮→どちらかといえば短縮しないほうが良い  
 ⑤ ××短縮→短縮しないほうが良い

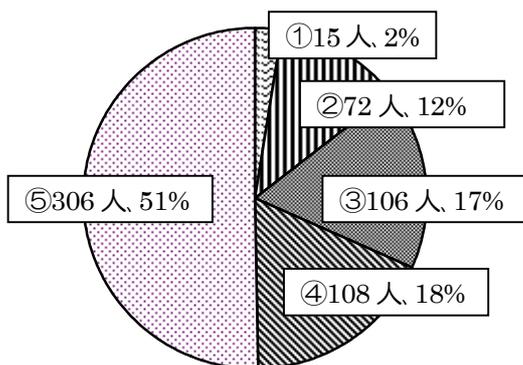
全体（2,054名）



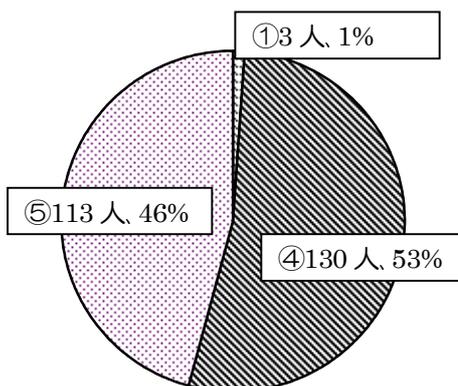
小学校（1,164名）



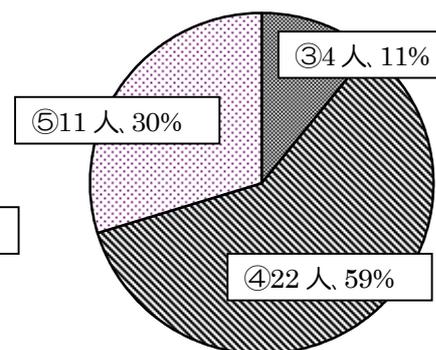
中学校（607名）



特支（246名）



幼稚園（37名）

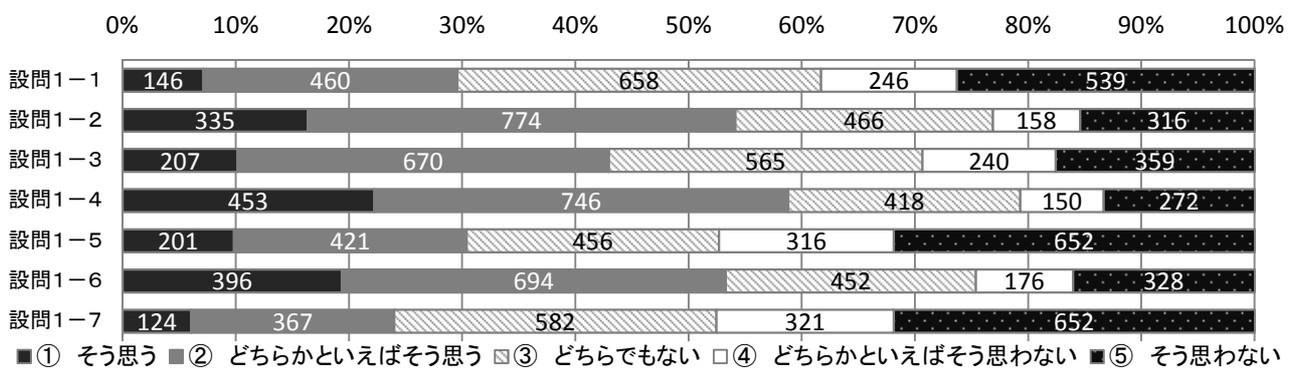


## 【教職員詳細】夏季休業日のあり方アンケート(設問ごとの回答)

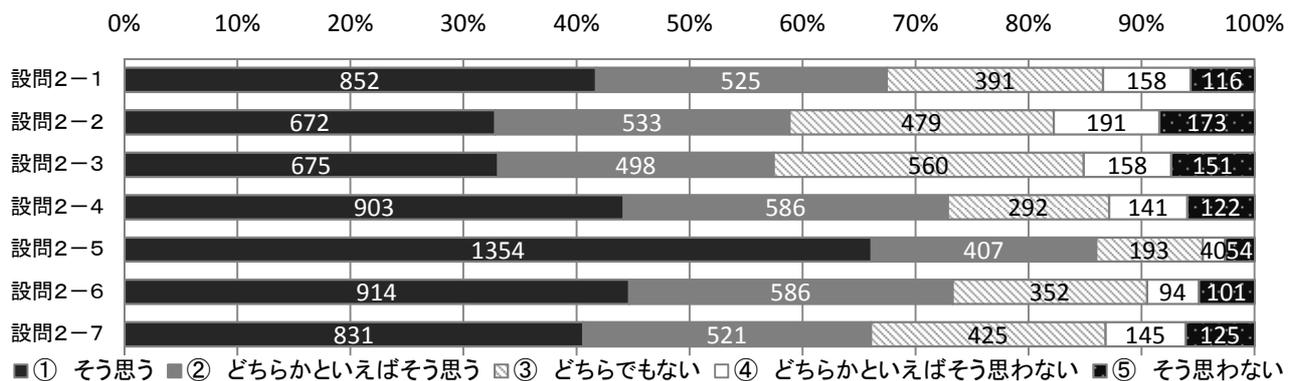
・メリットの中で、設問1-5「学校行事の準備がしやすい」、設問1-7「課題や作品の点検、整理等ができる」については「そう思わない」の割合が高い(メリットと感じていない)

【関連】設問2-7「夏季休業日中に2学期からの準備が十分にできない」については「そう思う」の割合が高い  
 ・デメリットの中では、設問2-5「休み(夏季休暇、振替等)が取りにくくなる」の「そう思う」の割合が顕著に高い。

設問1	夏季休業日を短縮した場合、想定されるメリットについて、あなたの考え方をお選びください。
設問1-1	幼児・児童生徒が規則正しい生活を送るようになる
設問1-2	幼児・児童生徒が学校で、先生や友だちと触れ合う時間が増える
設問1-3	幼児・児童生徒が家庭で学習することと比較して、充実した学習が期待できる
設問1-4	幼児・児童生徒に給食が提供されるならば、1日の栄養バランスなど食事面での安心感がある
設問1-5	2学期に予定している学校行事等の準備がしやすい
設問1-6	授業時数に余裕が生まれる(授業時数を確保できる)
設問1-7	夏季休業日中に出した児童生徒の課題(宿題等)や作品の点検、整理等ができる



設問2	夏季休業日を短縮した場合、想定されるデメリットについてあなたの考え方をお選びください。
設問2-1	幼児・児童生徒が家族と過ごす時間が減る
設問2-2	幼児・児童生徒が地域行事へ参加する機会が減る
設問2-3	幼児・児童生徒の習い事(スポーツや塾等)に影響する
設問2-4	幼児・児童生徒を夏の猛暑のなか、登下校させるのは心配だ
設問2-5	休み(夏季休暇、振替等)が取りにくくなる
設問2-6	研修に参加する機会が減る
設問2-7	夏季休業日中に2学期からの準備が十分にできない



設問3	夏季休業日のあり方について、あなたの考え方をお選びください。
-----	--------------------------------

